上野中だより

上野村立上野中学校　学校通信
第４号(文責:校長　五十嵐貴子)
令和４年５月１９日発行

肌寒い日が続きましたが、ようやく日差しが戻り、上野中学校は毎日、全員元気に学校生活を送っています。「１」つだけの命、体、そして自分の口から発する「言葉」を大切にしよう。「２」つ持っている手と足を、自分のためと誰かのために使おう。見えない大切なものを見のがさず、心の声を聴き逃さず、思いやりを大切にしよう。そして１＋２＝「３」、自分に何ができるか、何をすべきか考えて、積極的に力を発揮し未来に向かって進もう。そんな気持ちで各学年、５月の活動に取り組んでほしいと思っています。

JRC登録式

５月１７日㈫にＪＲＣ（青少年赤十字）の登録式を行いました。ＪＲＣ委員長から、活動の意義について説明があり、誓いの言葉を述べたりバッヂを授与されたりしてＪＲＣの一員となりました。ＪＲＣの実践目標は、「命と健康を大切にする」「人間として社会のため、人のためにつくす責任を自覚し、実行する」「世界の青少年を知り、仲良く助け合う精神を養う」の３つ。５月の「１」「２」「３」と目指すところは同じだなと思いました。「気づき」「考え」「実行する」を合い言葉に、日々の活動を頑張ることが、この活動を充実させることにつながると思います。

さあ、自分には何ができるかな。昨日より一つ、「気づくこと」が増えるといいですね。４名のJRC 委員さん、中心になってよろしくお願いします。

避難訓練

藤岡消防署奥多野消防分署上野消防出張所から４名の隊員の皆様に来ていただき、火災発生を想定した避難訓練を行いました。さすが中学生、逃げる際の約束を守り、自分の命を守るための行動がしっかりできました。また、消火器訓練で消火器の使い方や初期対応についても学びました。

災害は、いつ、どこで、どんな形で起こるかわかりません。家にいる時や外出中ということもあるでしょう。防災と共に、いざというときの確認や約束をご家庭でも話していただき、自分と周りの人の命を守る行動ができるといいです。

火災の場合、怖いのは火よりも煙と言われます。煙に巻かれて逃げ場を見失ってしまうそうです。中学校は、煙が発生すると防火シャッターが閉まります。シャッターが閉まってしまったら、どこから逃げるか。普段、使ったことのないドアがあるのはそのためですが、意外とパニックになって気づきません。訓練は、そういうことを確認する良い機会です。

煙を感知すると降りる

職員も、消火器の場所、指示や連携の確認、持ち出すものなど、改めて確認しました。

たくさんの「先生」にお世話になります。

和室でＳＣの高橋先生

美術の北上先生

用務員の神田さん、いたる所で

栄養教諭　小西先生

２年生、万場高校へ！

中高連携の取組の一環です。２年生が、「理科」の生物の学習のため、万場高校に行きました。中里中の２年生と合同で活動しました。

高校の脇を流れる川で、大小さまざまな魚を捕まえました。これが高校生の力を借りて「骨格標本」になり、来年１月ごろ、手元に届き、標本の作り方や骨のつくり、体の仕組みなどについて、高校の先生に教えていただくことになります。１５ｃｍくらいの魚も捕まえたそうです。お魚さんには申し訳ありませんが、学習の役に立ってもらいます。どんな標本になって見られるのか、楽しみです。

見えるところ、見えないところで、たくさんの方々にお世話になって、学校生活を送っています。スクールバスの運転手さん、給食を作ってくれる給食センターの皆さんや運転手さん。健康診断も始まり、内科検診では土肥先生に、来週は歯科の小原先生にお世話になります。そうそう、高坂駐在さんも「自転車通学の子が増えたのですね。事故がないようにパトロールしますよ。」と寄ってくださいました。１年生が道徳で、家族に「ありがとう」の勉強をしていました。そういえば「母の日」「父の日」の季節でした。一番近くで支えてくれている家族、そして、私たちを見守り支えてくれているたくさんの人に「感謝」の気持ちを伝えられたらいいなと思います。そして、生徒の皆さんも、周りの誰かから「ありがとう」と言われる人でいてほしいと思います。